

平成26 年 4 月 5 日

プロジェクト報告書

団体名 森の教室インストラクター会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

武蔵野の自然体験活動育成事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

私達の生活環境において、人為的な自然生態系の破壊が著しく、これ以上の環境の変化、生物多様性の破壊が進まないように、自然林保全と自然林保護の意識向上と、その指導者の育成を目指します。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

学校における体験活動 総合学習として3校に参加 実施日 平成25年10月22日 平成25年11月26日
サマースクール 実施日 平成25年7月23日

自然観察会 平成25年5月6日 平成25年7月25日

育成講座 講座内容 青少年教育・学校教育における体験活動 自然体験活動指導の実技
活動の企画運営 安全管理 活動の指導法 参加者の理解

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

前半6ヶ月の育成講座期間中、途中で退会する方が2~3人いますが、後半は、工夫することなく CUNE の改正により、講座の内容や実技の演習などがより高度なものになりましたが、楽しさもあり、退会する方はなく続けて次回のコースにチャレンジすることになりました。実技の演習には、実習する場を増やすことが今後の課題と思われます。次回のコースに進ことにより、リーダーの資格・インストラクターの資格が取得することが可能になります。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

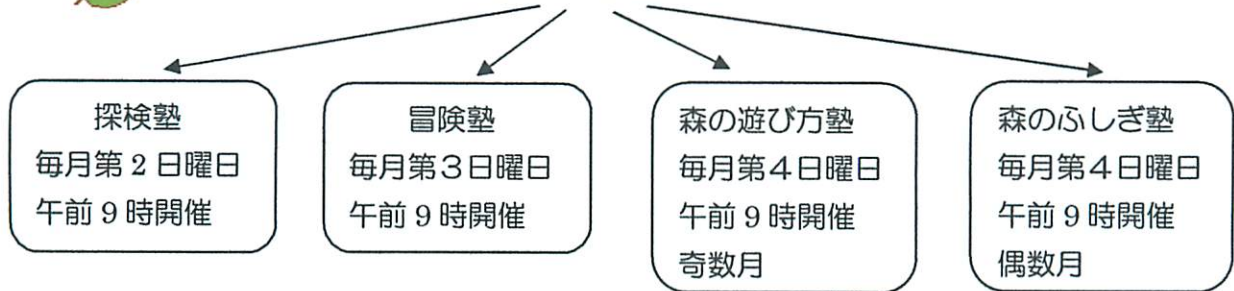
3回 一般募集した植物観察会は、道端の野草を中心に見て回ったので、とても好評で、次年度も3回することに決定しました。1つ1つの草にも名前がついていることに、感動する場面もありました。学校支援の総合学習では、受講生の参加も多く、子供達とのコミュニケーションもよく、来年度の依頼もありました。配布する資料も充分に出来て、助成金の効果が表れました。

6. 参考資料

インストラクターをめざし

森の教室指導者になりませんか

森の自然塾



当会では自然体験活動推進協議会（CONE）の認証を受けて毎年、国分寺市のX山を中心に、森の指導者をめざし、森の教室を開催しています。森の自然体験で活躍する指導者を養成する、【武蔵野の自然体験活動指導者育成講座】を実施しています。生物多様性・自然環境保全・自然体験活動の理念や実践・技術・指導法などを学びます。国内唯一の講座です。

時 指導者養成講座開催日 毎月第2水曜日・午前9時～12時30分

場所 恋ヶ窪公民館

講師 講師・ 藤森隆郎 農学博士・国連環境委員会日本代表
源原重行 元中学校校長・教員植物野外観察講師
立川周二 農学博士・自然環境復元協会理事
穴沢剛行 大沼駒ヶ岳ふるさとづくりセンター
小林孝之助 ボーイスカウト日本連盟事務局次長
中村俊信 ナチュラル・フェローズ理事長

受講料 1コース（全6回） 3,000円 （1コース目 3月～8月）
（2コース目 9月～翌2月）

資格取得 初年度 【森の教室リーダー】 次年度 【森の教室インストラクター】
（2コース受講が条件） （次年度も2コース受講が条件）

申込み・問い合わせ 〒185-0032 国分寺市日吉町4-15-4
加藤昌代（042-321-7736）
往復はがきに、住所・氏名・電話番号・年齢・申し込み理由記入
申し込み随時受け付け

森の教室インストラクター会 